

佐藤勝昭 スケッチ紀行

ヨーロッパ
vol.1 *Europe 1*

表紙

モンマルトルの丘の裏手の道の一角にあるピンクのかわいい
小さなレストラン「ラ・メゾン・ローズ」。オランジェリー美術
館にあるユトリロの絵そのままのたたずまいで印象派ファンに
必見の建物です。

La Maison Rose, a small restaurant on the hill of Montmartre

目次

『佐藤勝昭スケッチ紀行 vol.1 ヨーロッパ1』
刊行によせて 大野弘幸 5

I フランス	7
パリ	8
パリ郊外	19
ストラスブール	24
グルノーブル	26
マルセイユ	28
エクサンプロバンス	30
ベノデ	32
カンペール	34
II ドイツ	37
ベルリン	38
シュトゥットガルト	42
ハイデルベルグ	46
フライブルグ	48
デュッセルドルフ	50
ツォンス	52
ケルン	54
ハレ	56
III スペイン	61
マドリード	62
トレド	66
アランフェス	70
セゴビア	74
作品リスト	76
著者プロフィール	78
ごあいさつ	79

『佐藤勝昭スケッチ紀行 vol.1 ヨーロッパ 1』刊行によせて

大野弘幸

佐藤勝昭氏は日本を代表する洋画家の1人であり、たくさんの魅力的な作品を生み出しているとともに、日本画府（日府展）」洋画部常務理事を務めている。銀座・お茶の水などで15回の個展を開催し、まさに脂ののった創作力が溢れ出ている洋画家である。

一方、佐藤氏は我が国を代表する研究者の1人でもある。佐藤氏はNHK基礎研究所で放送技術の基礎研究を推進されたのち、1984年から東京農工大学工学部教授として教育・研究の世界に入られた。磁気光学と半導体光物性を専門とし、13名の博士学位取得者を筆頭に多くの学生を社会に輩出してきた。

「天は二物を与へず」と言われるように、一つの道でさえも究めることは難しいのに、佐藤氏は工学系研究者と洋画家というふたつの顔を持ち、両者を究めている稀有なプロである。理工系の学者の眼で見た風景を絵にすると「冷たい」、「硬い」絵になるのではないかと思ってしまうが、佐藤氏の絵は「暖かく」「優しい」。氏の専門の光を芸術においても操っているのではと思うほどの優しさが溢れ出ている。

佐藤勝昭スケッチ紀行、vol.1 ヨーロッパ 1 は佐藤氏が国際会議での研究発表のため訪れた世界中の地をスケッチしたものの中からフランス、ドイツ、及びスペインにおいて描かれたものを選び、画集としたものだ。いずれも各地の特徴が表れているばかりでなく、そこに生きている人々の会話が聞こえてくるような温かみが感じられる。

仕事が一区切りついたときに飲むコーヒーのように、この画集は柔らかくも新鮮な刺激を与えてくれる。これを手にした方々は、きっと佐藤画伯の温かみを感じ、vol.2を楽しみに待つであろう。ネットで公開されている佐藤氏のギャラリー (<http://home.sato-gallery.com/>) も必見である。

本画集が皆さん的生活を豊かにすることを願って。

（おおの ひろゆき・東京農工大学学長）

I フランス France



花の都、芸術家の街として人気の首都パリ

ドイツとの国境の街strasbourg

アルプスの麓の科学都市グルノーブル

西海岸ブルターニュの街ベノデ・カンペール

地中海の港町マルセーユ

セザンヌの愛したエクサンプロバンス

魅力いっぱいのフランスのスケッチ



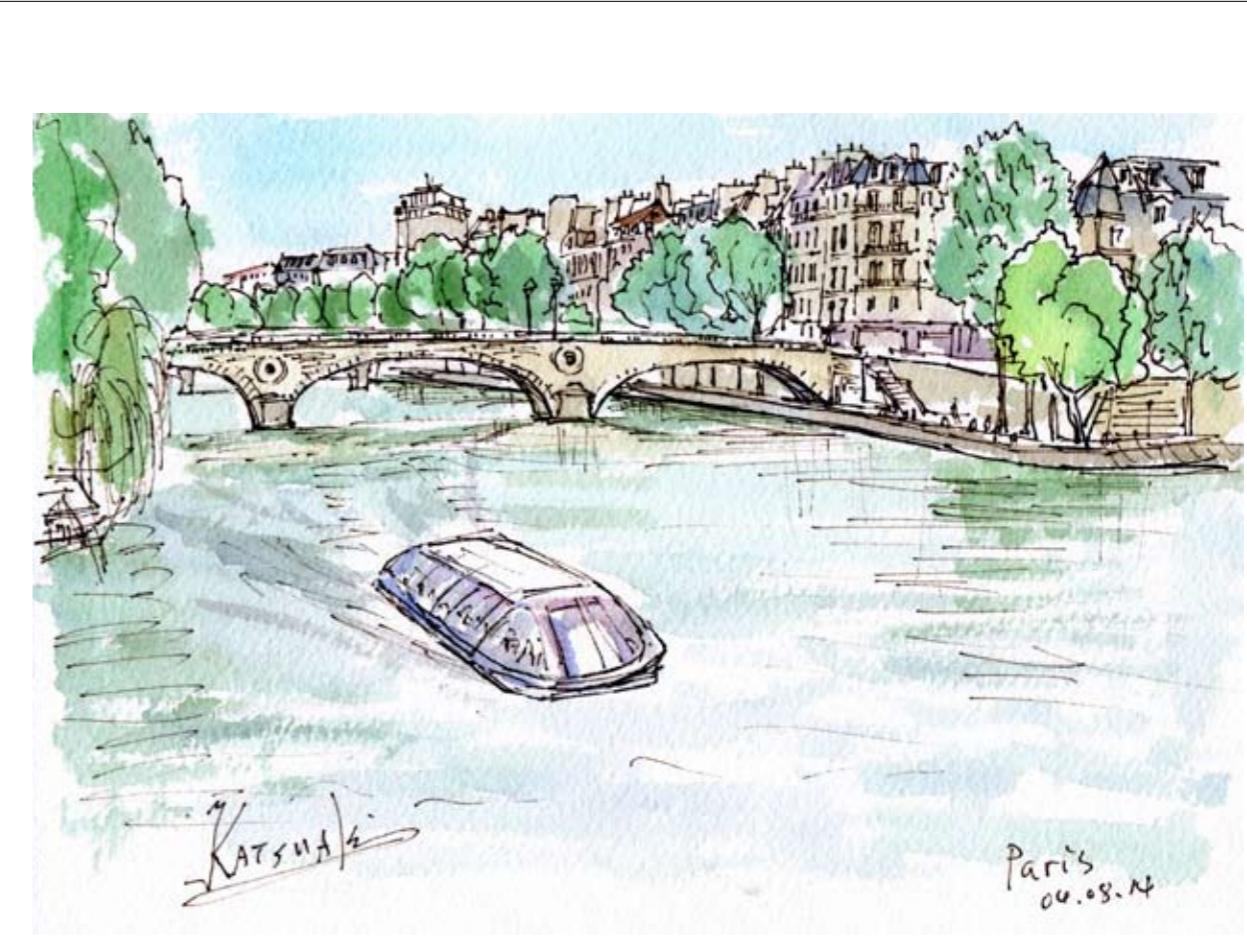
I-1 パリ Paris
凱旋門 L'Arc de Triumph
パリの中心エトワールに建つ凱旋門、スケッチをした日は戦勝記念日で大きな三色旗がはためいていました。



I-2 パリ Paris サンマルタン運河 Canal Saint Martin
パリの運河は観光船が行き交いますが、閘門を使って高低差を克服しています。



I-3



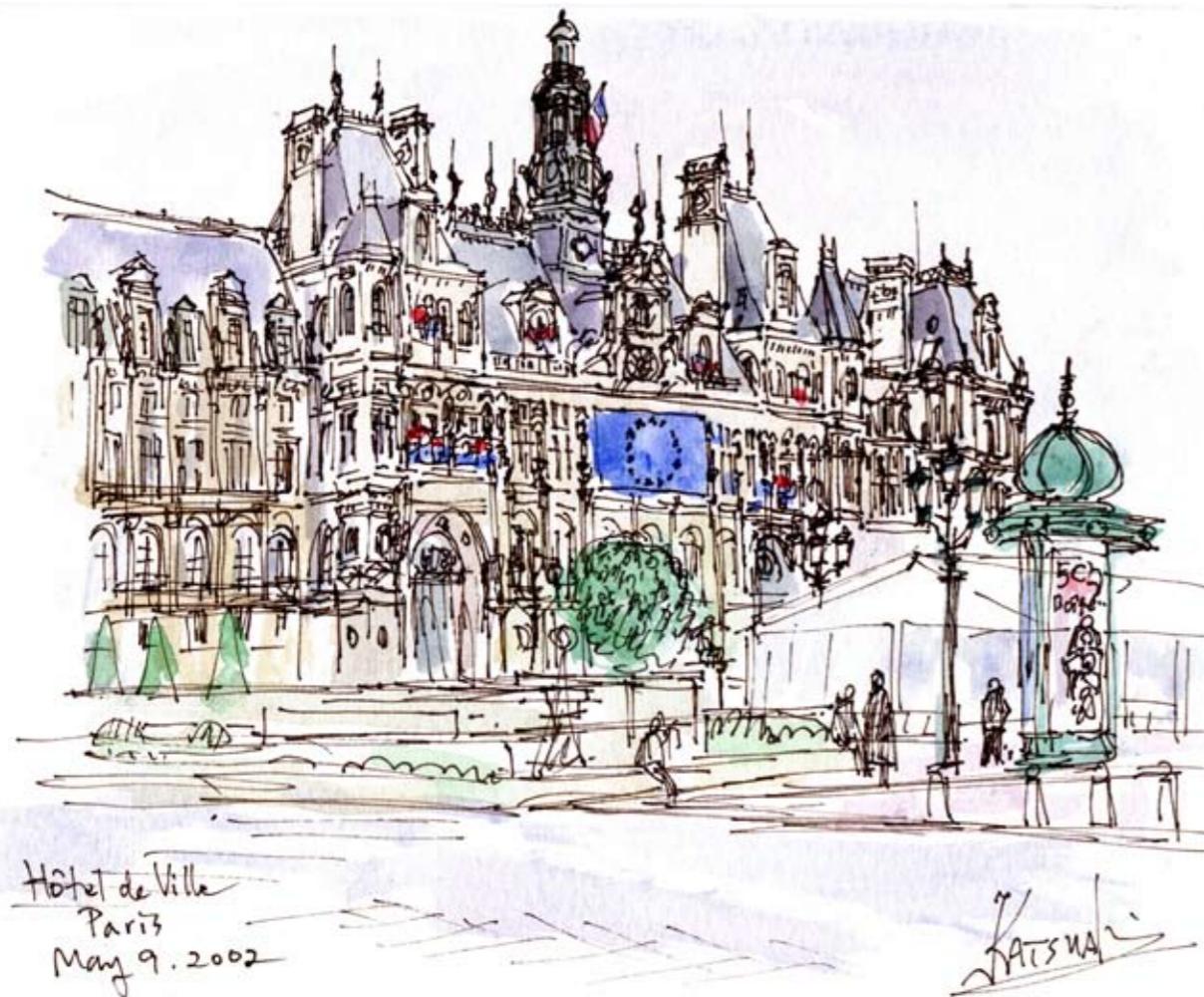
I-4

I-3 パリ Paris エッフェル塔 Tour Eiffel

パリ万博で建設されたエッフェル塔、国際会議のエクスカーションはセーヌ川のクルーズ。出発の船着き場の正面にずっとと立っていた。

I-4 パリ Paris セーヌ川 La Seine

フランス西海岸からの帰途、シャルルドゴール空港から地下鉄でシャトレまで行き、セーヌ川まで歩いて、航行するクルーズ船を描き、空港に戻り、無事東京便に間に合いました。



I-5 パリ Paris パリ市役所 Hotel de Ville

お城のようなパリ市役所。パリコンミューンの乱で消失しましたが、1873年から1892年まで7年かけて再建されました。訪れた日、市役所中央には大きなEU旗が飾られていました。

I-6 パリ Paris
モンマルトルの小径
Montmartre Lane

モンマルトルの小径サンルスティーク通りからみたサクレクール寺院は、ユトリロをはじめ古今の画家たちの格好のモチーフです。





KATSUYA

Paris, Pont St. Michel
May 7, 2000

I-7 パリ Paris

サンミシェル橋 Pont Saint Michel

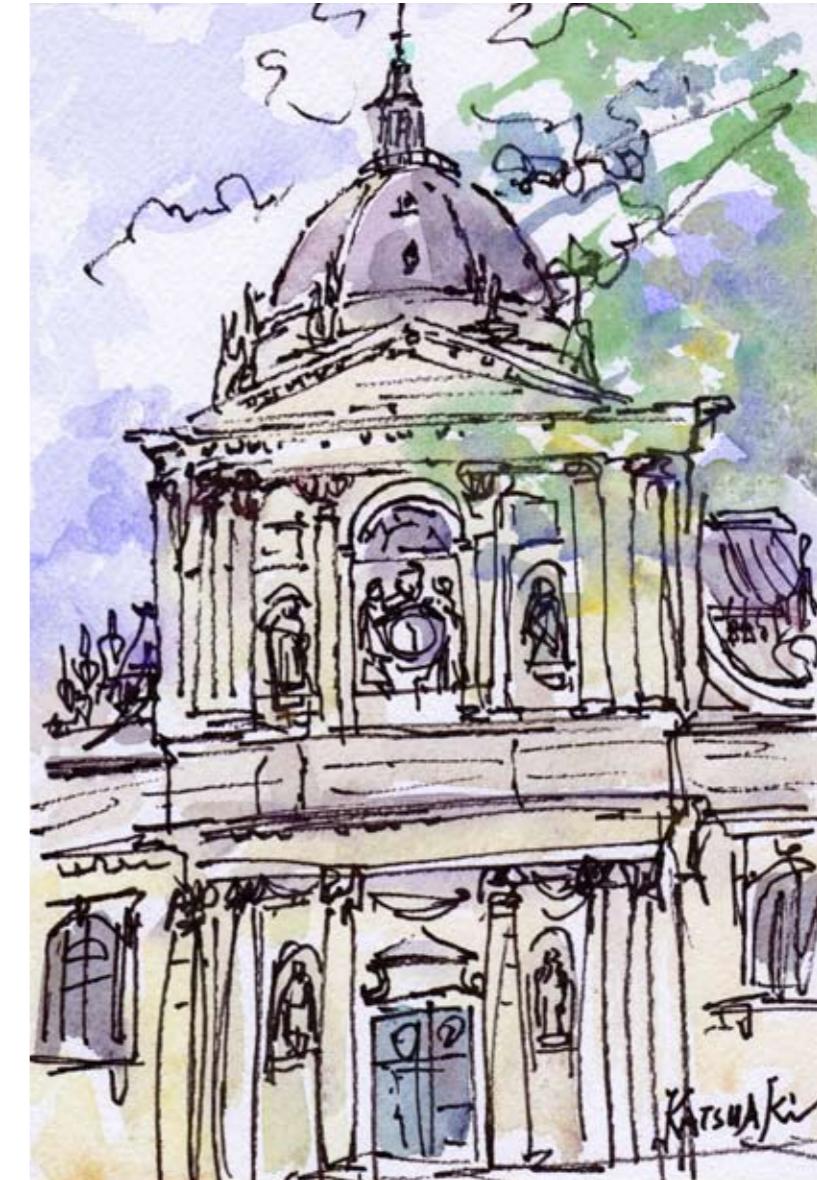
学生街カルチエラタンの入口にあるのが、セーヌ川にかかるサンミシェル橋です。右岸には、メトロ4号線が走っていて、この橋のたもとにサン=ミッシェル駅があります。



I-8

I-8 パリ Paris
シャンゼリゼ Champs Elysees
シャンゼリゼ通りの歩道にはおしゃれなカフェテラスがあり、いつも賑わっています。

I-9 パリ Paris
ソルボンヌ Sorbonne
神学者ロベール＝ド＝ソルボン(1201～1274)が1257年創立したパリ大学の神学寮。のちパリ大学神学部の通称となり、さらには大学本部がそこに置かれたことから、パリ大学の通称となりました。



I-9

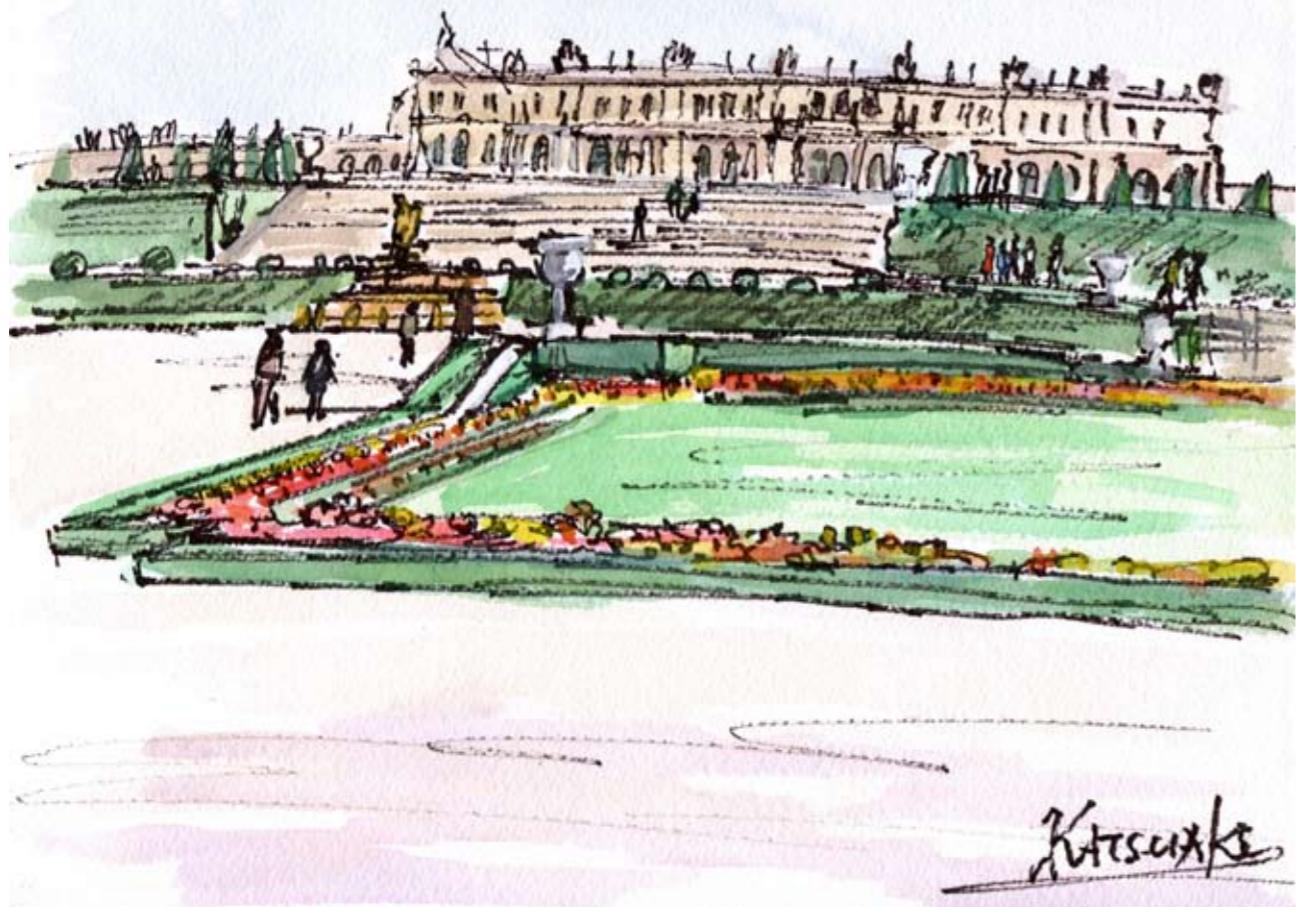


I-10 パリ郊外 Suburbs of Paris ドゥルダン城の濠 Fosses du Chateau Dourdan
イル・ド・フランスと呼ばれる首都パリを中心とする地域圏の東南に位置する古い街。
堀にかかる橋を渡ると13世紀の古城の城跡を見ることができます。

I-11 パリ郊外 Suburbs of Paris
ドゥルダン,サンピエール通り
Rue Saint Pierre, Dourdan

ユニークな看板のある石造りの
古い街並みの向こうには、緑地
が見えます。緑のトンネルをくぐ
ると左手に町役場があります。





I-12 パリ郊外 Suburbs of Paris ヴェルサイユ宮殿 Versailles

パリを訪れた観光客が1度は訪れるヴェルサイユ宮殿。広大な庭は、隅々まで美しく見飽きることがありません。



I-13 パリ郊外 Suburbs of Paris フォンテーヌブローの城 Chateau de Fontainebleau

フォンテーヌブローは、パリを中心とするイル・ド・フランス地域圏で最も大きな自治体で、歴代のフランス王が愛した美しいフォンテーヌブロー城があります。このお城から10kmのところには、ミレー・コローらの画家たちが過ごしたことで有名なバルビゾン村があります。



I-14



I-15

I-14 パリ郊外 Suburbs of Paris

ドゥルダン, ドゴール広場 Pl. General de Gaulle

ドゥルダンの中心部にあるドゴール広場は石畳が敷き詰められ駐車場になっていて、カフェを兼ねたおしゃれなケーキ屋さんが店を構えています。

I-15 パリ郊外 Suburbs of Paris

フォンテンブローの街並 Rue Grande, Fontainebleau

フォンテーヌブローのお城に近いグランド通りには、カラフルで楽しいお店が並んでいます。お寿司屋さんもあります。



I-16 ストラスブル Strasbourg

クヴェール橋から大聖堂を望む Cathedral from Pont Couvert

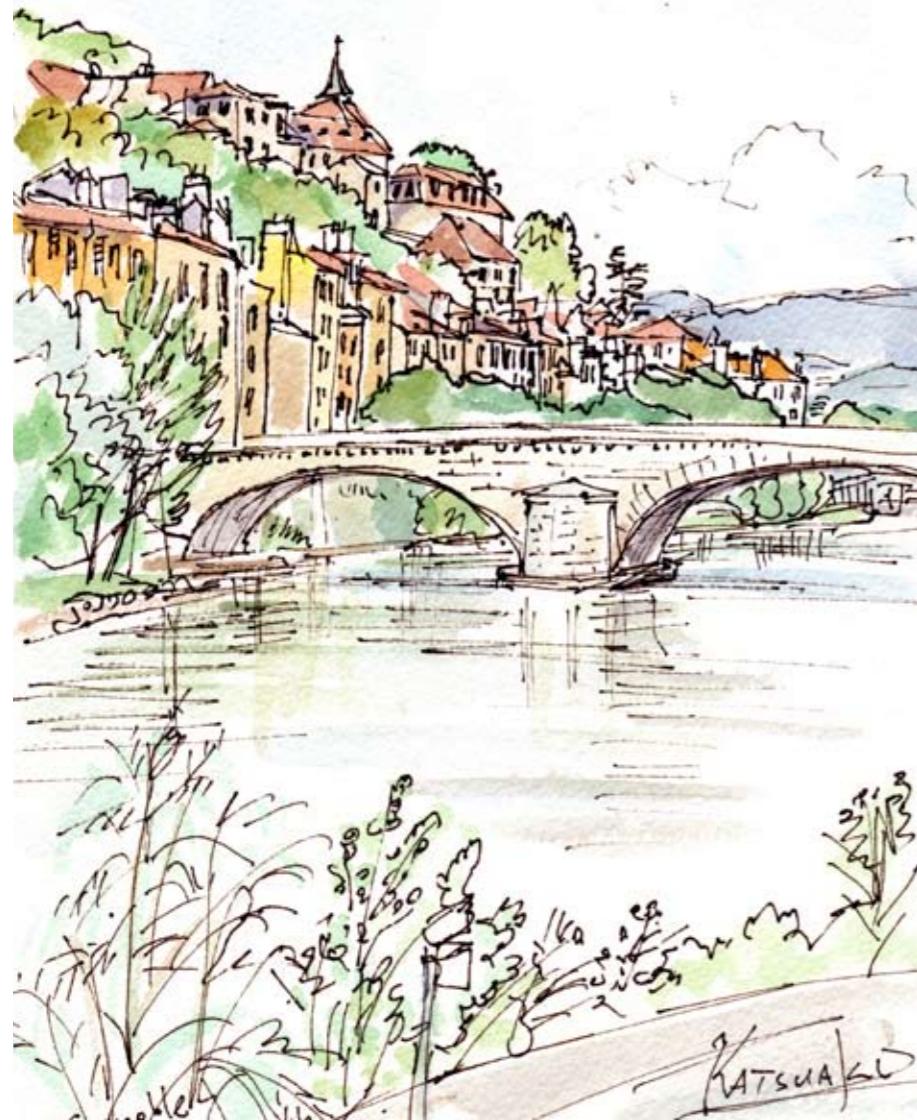
アルザスロレーヌ地方の首都ストラスブル。ライン川をわたるとドイツのケルンという国境の町です。イル川は、クヴェール橋でいくつかの運河に分かれます。橋からはストラスブル大聖堂を望むことができます。



I-17 ストラスブル Strasbourg

プティットフランス, ムーラン広場 Squares du Moulin, Petite

イル川の中州にあるプティット・フランス地区には、アルザスの伝統家屋が密集しており、ユネスコの世界遺産に登録されています。



I-18



I-18 グルノーブル Grenoble イゼール河畔の家 Houses on the Isere river

アルプス山脈の麓、イゼール河畔に位置する学術研究都市。ヨーロッパシンプロトン放射光施設ESRFがあることで有名です。周囲を岩山で囲まれ、岩山のてっぺんにはバスチュ城塞があります。

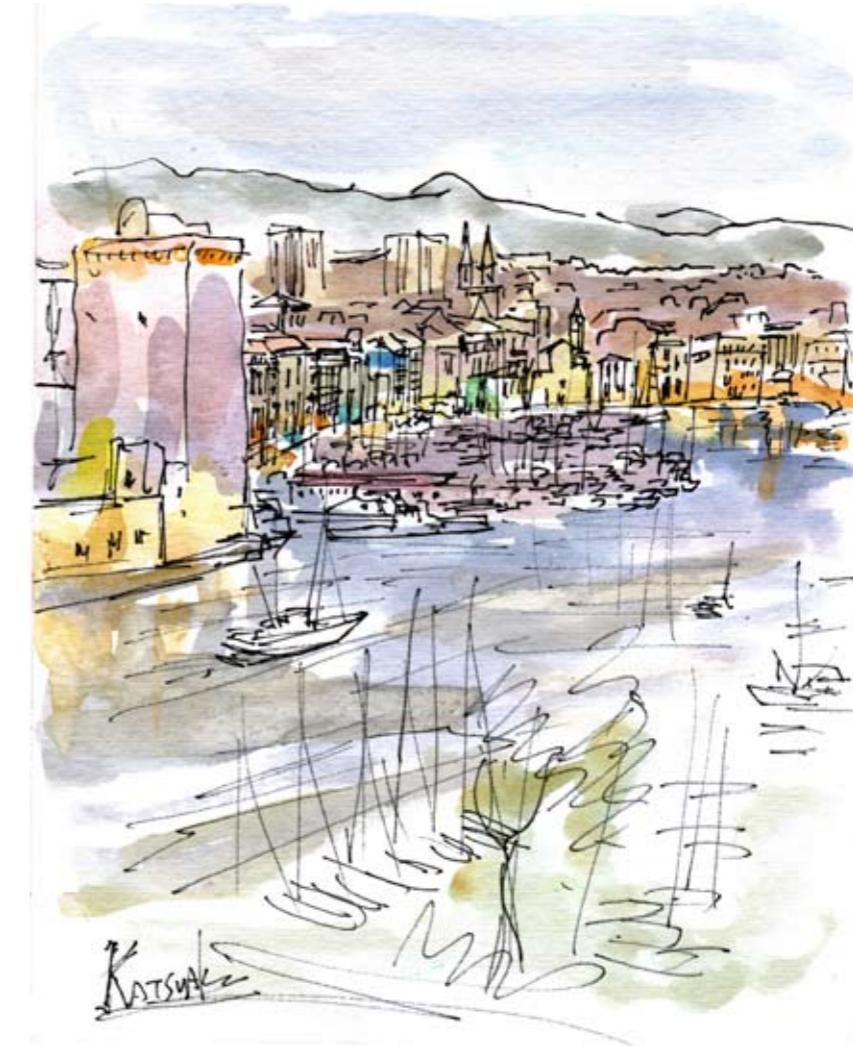
I-19 グルノーブル Grenoble ジャルダン・ド・ヴィル公園 Jardin de Ville

グルノーブルの街の中心にある静かな歴史ある庭園です。美しい花が咲き誇り、噴水や銅像を鑑賞できます。毎年夏に音楽会が開催されることでも有名です。



I-20 マルセイユ Marseilles 旧港の朝 Morning at the Vieux Port

地下鉄を旧港駅で降り、エスカレーターで地上に出たところで目にするのがこの風景です。旧港はヨットの係留地となっており、貿易など舟運の拠点は新港に譲っています。サンジヤン要塞の塔を遠方に望み、たくさんのヨットの帆柱が見えています。



I-21 マルセイユ Marseilles 夕闇の旧港 Night scene of Vieux Porte

マルセイユを訪れたのは、年末の12月31日。街並みもサンジヤン要塞もライトアップされ、夕闇に浮かび上がっていました。



I-22 エクサンプロバンス Aix-en-Provence

早春の花市 Flower market in early spring

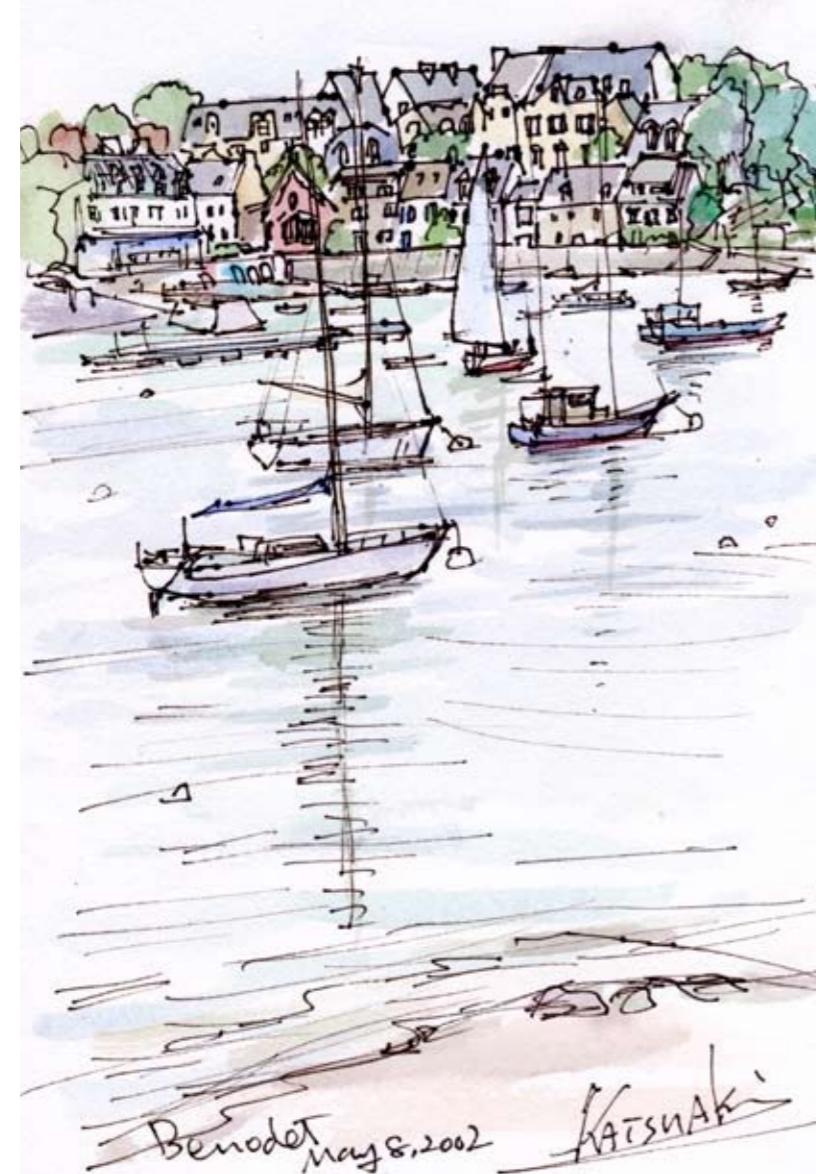
エクサンプロバンスは、プロバンス地方の古都で、セザンヌの出生地としてよく知られています。この絵を描いたのは、お正月の元日でしたが、花市は咲き乱れる花であふれ、町の人が花を買い求めて集まっていました。



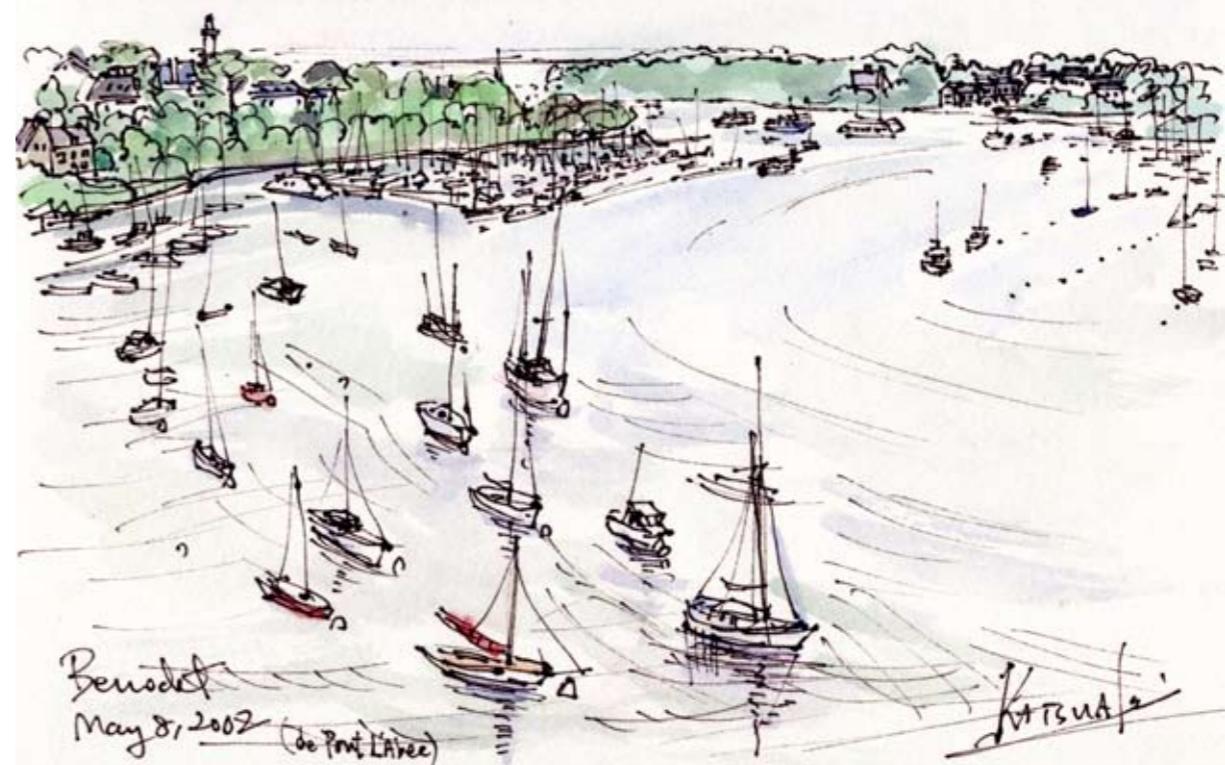
I-23 エクサンプロバンス Aix-en-Provence

ミラボー通り Cours Mirabeau

パリに次ぐ美しい街として知られるエクサンプロバンス。大きなプラタナスの木には、おしゃれなカフェが並んでいます。



I-24



I-25

I-24 ベノデ Benodet ヨットのある風景 Yachts on the Odet river

フランス北西部ブルターニュ地方の港町ベノデ。ブルトン語（ケルト語系の言葉）でオデ（Odet）川の河口という意味です。オデ河口にはたくさんのヨットが見られます。

I-25 ベノデ Benodet

アッベ橋からヨット係留地を望む Yacht Harbor from Pont Abbe

ベノデは、毎年5月には Obelix Trophy というヨットレースの起点となっており、たくさんのヨットが係留されています。カンペール Quinper に向かう道、オデ川に架かるアッベ橋上から描いたヨット係留地の風景です。



I-26 カンペール Quimper

サン・コランタン大聖堂
Cathe'drale Saint-Corentin de Quimper

カンペールは、フランス北西部ブルターニュ地方、フィニステール県の県庁所在地です。13世紀に建てられたゴシック様式の大聖堂は、ブルターニュ様式の街並にマッチしています。街角にはバグパイプの演奏者が見られます。

I-27 カンペール Quimper

オデ川 The Odet

カンペールの中心を流れるオデ川。谷状のオデ川に沿って海が内陸へ進入し、古代から交通の要衝となっています。観光客を乗せたクルーズ船が行き来しています。



II ドイツ Germany



東西ドイツ統合の象徴、首都ベルリン
南部の自動車の街シュトゥットガルト
哲学の道で有名なハイデルベルグ
城壁に囲まれたクリーンな街フライブルグ
ドイツ中部の工業都市デュッセルブルグ
ゴシックの大聖堂の街ケルン
ヘンデル生誕の地ハレ



II-1 ベルリン Berlin ブランデンブルグ門 Brandenburg Tor

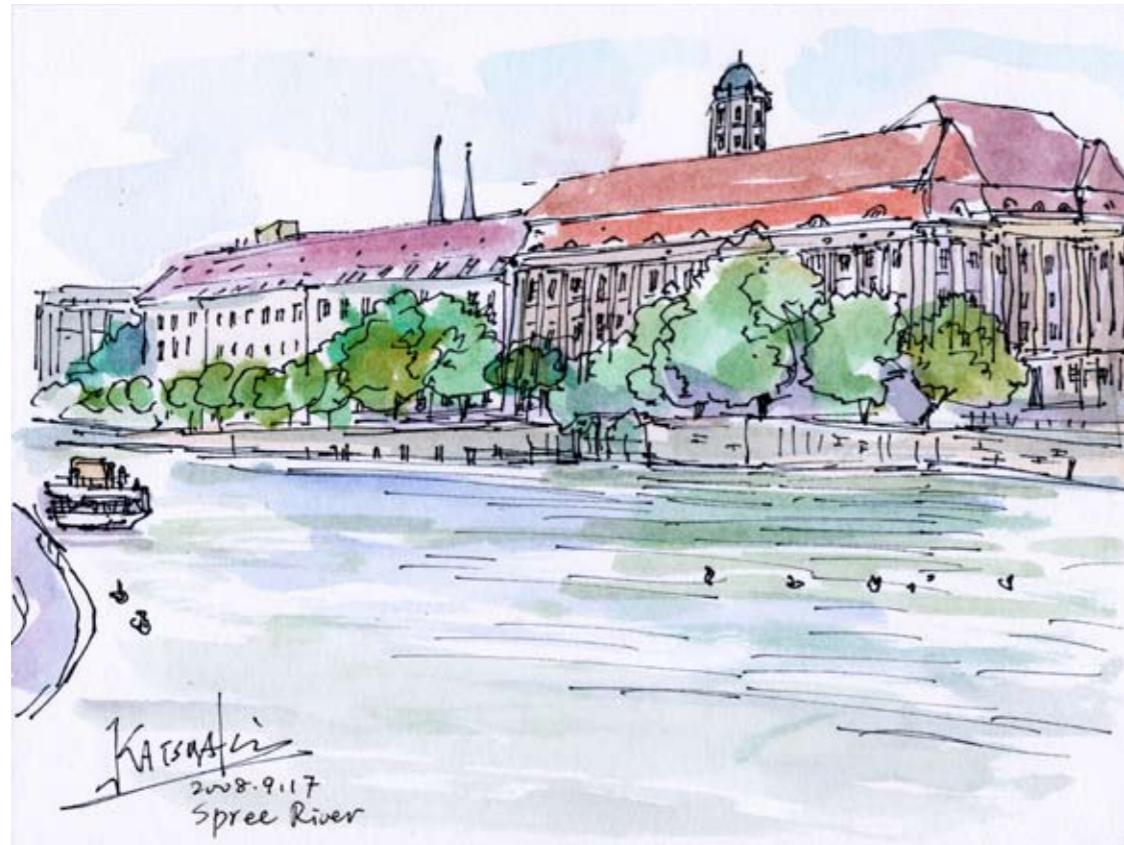
プロイセン王フリードリヒ・ヴィルヘルム2世が18世紀後半に建設させた市門のひとつだったブランデンブルク門。冷戦による東西分割、そして東西ドイツの再統一を象徴する存在として観光スポットとなっています。

II-2 ベルリン Berlin

カイザーヴィルヘルム記念教会
Keiser Wilhelm Gedaechtnis Kirche

空襲で破壊されたままの旧教会堂鐘楼、戦争を警告する記念碑として残されています。背景の十字架のある高層ビルは新教会です。





II-3 ベルリン Berlin

シュプレー川 Spree river from Jannowitzbuecke

ベルリンの中心を流れるシュプレー川に架かるヤノヴィッツ橋。この橋のたもとからクルーズ船が出発します。正面の赤い建物は IUBH ビジネス・経営スクールのデュアレス校舎です。



II-4 ベルリン Berlin ドイツ連邦議会 Bundestag

帝政ドイツ時代に建造され、ヒトラー時代に放火で全焼。第2次世界大戦で破壊されましたが、1990年のドイツ再統一を受けて再建されました。議事堂屋上のガラスと鉄骨のドームは観光客に人気です。



II-5 シュトゥットガルト Stuttgart

シュロス広場の旧宮殿（州立博物館） Alteschloss at Schlossplatz

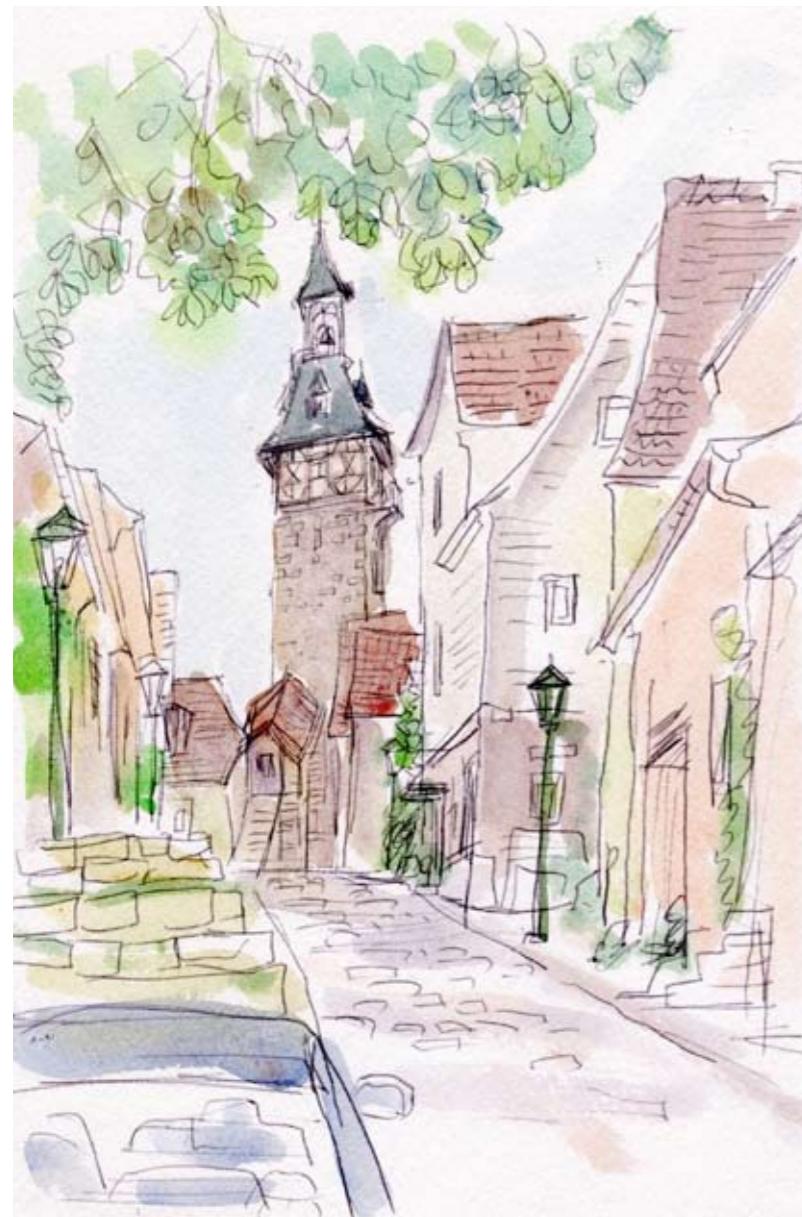
シュトゥットガルト中央駅から数分歩くとシュロス広場に出ます。赤い屋根の建物はブュルテンブルク王家の旧宮殿で、10世紀に創建され、16世紀にルネサンス様式に改装、第2次大戦後に州立博物館となりました。



II-6 シュトゥットガルト Stuttgart

シュティフス教会の時計塔 Clock tower of Stiftskirche

この教会の歴史は12世紀にさかのぼります。14世紀にゴチック様式の建造物となり16世紀の宗教改革で内装がすっかり変わりました。第2次世界大戦の爆撃で破壊されましたが、1950年代に復元されました。



II-7 シュトゥットガルト郊外
Stuttgart Suburb

マールバッハアムネッカーの塔
Tower in Marbach am Neckar

マールバッハはシュトゥットガルトから
Sバーンの電車で30分、ネッカー川
のほとりにある歴史的な町で、シラー
の生誕地として有名です。



II-8 シュトゥットガルト郊外 Stuttgart Suburb

マールバッハアムネッカーの古い家 Old houses in Marbach am Neckar
石畳の坂道に沿って古い木組みの家が建ち並びます。真ん中の緑のよろい
戸の家はシラーの生家です。



II-9

II-9 ハイデルベルグ Heidelberg

ハイデルベルグ鳥瞰
Bird's eye view of Heidelberg City

ハイデルベルク城跡のある高台からは、ネッカーリ川及び旧市街を見下ろすことが出来ます。旧市街はハイデルベルク大学に関係する建物が多く、町と大学が一体化しています。

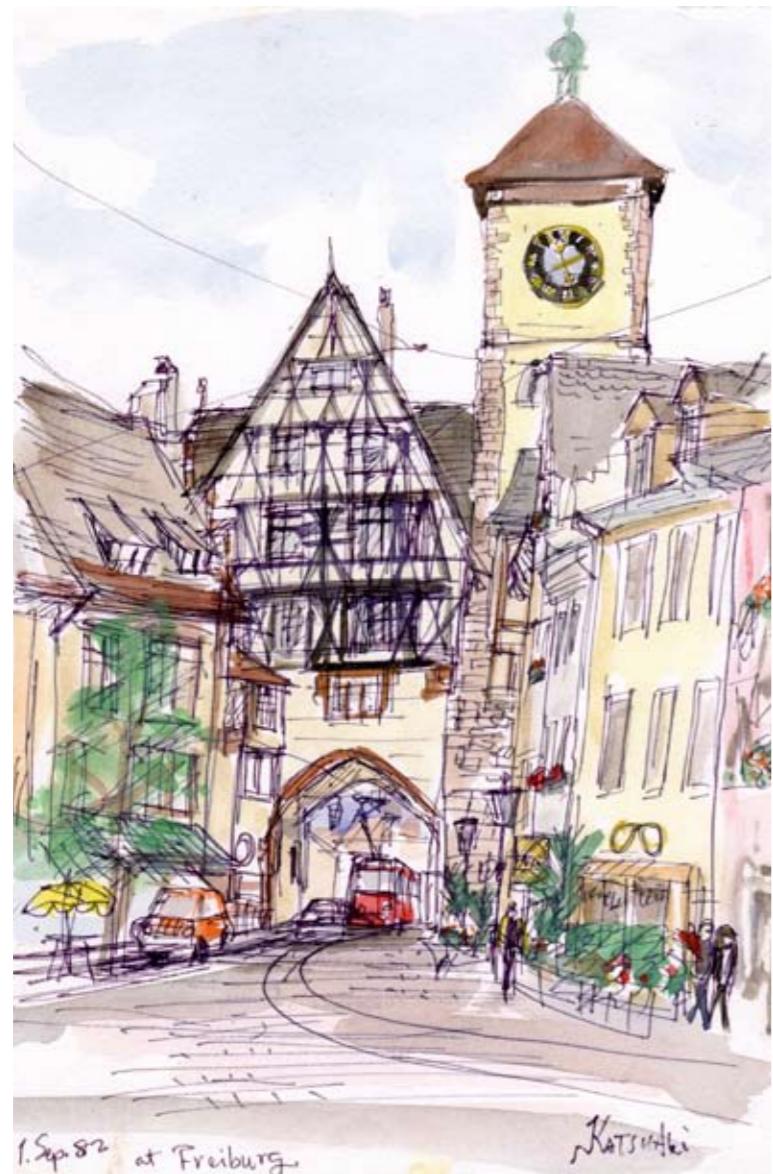
II-10 ハイデルベルグ Heidelberg

旧市街からアルテブリュック橋を望む
Altebruecke from Old Town

旧市街を歩くと、ネッカーリ川に架かる古橋に来ます。旧市街側にある橋門は、かつて街の城壁であった一部が残ったもので、白壁の一対の橋塔ブリュッケン・トールが橋門の左右にそびえて町を見守っています。



II-10



II-11 フライブルグ Freiburg

シュワブ門

Schwabentor (Swabian Gate)

ドイツ南部、シュワルツバルト（黒森）観光の拠点フライブルクには、幾つもの城門があります。シュワブ門は木組みの三角屋根と時計塔からなり、下を市街電車が走っていますが、この門より中の旧市街は歩行者天国となっており、原則として車は入れません。

II-12 フライブルグ Freiburg

フライブルグ鳥瞰

Bird's eye view of Freiburg

フライブルク大聖堂の鐘楼からのフライブルク鳥瞰。眼下の塔はマルチン門 Martinstor。





II-13 デュッセルドルフ Duesseldorf ケーニヒ通り Koenichallee

ドイツ中西部のデュッセルドルフは、ライン川の河畔にある州都です。ルール工業地帯に近く、たくさんの中日本企業が進出しています。町の中心部の運河に沿って800メートルほど続くケーニヒ通りは、高級ブティックや宝飾店などが軒を連ねる美しい並木道です。



II-14 デュッセルドルフ Duesseldorf アルトシュタット Altschstadt

デュッセルドルフのアルトシュタット(旧市街)は、ケーニヒスアレーの西側からライン川までの一帯にあり、レストラン、土産物店、居酒屋が軒を連ねています。



II-15 ツォンス (デュッセルドルフ郊外) Zons (Suburbs of Duesseldorf)

城門 Rheintor (City Gate) from North

デュッセルドルフから、フェリーでライン川をさかのぼること 1 時間、中世の城壁都市ツォンスに着きます。町の入口には城門があり、車は入れてもらえません。



II-16 ツォンス (デュッセルドルフ郊外) Zons (Suburbs of Duesseldorf)

ユッデ塔のある町並み Street scene with the Juddeturm Tower

城壁の中では中世の町並がそのまま残り、そこで普通の生活が営まれています。城壁の角ごとに形の違う塔があります。この奇妙な形の塔は、かつてのケルンの貴族の名に因んでユッデ塔と呼ばれています。



II-17 ケルン Koeln

大聖堂 Cathedral

ケルンは、ローマ時代から栄えたライン河畔の大都市です。駅前には世界遺産に登録されたゴシック様式の大聖堂がそびえています。建築には 600 年の歳月を要したと言われています。



II-18 ケルン Koeln

聖堂と聖マルティン教会 Cologne Cathedral and St. Martin Church

ライン川に架かるドイツツァー橋 Deutzer Bruecke からは、美しい河畔の家々の向こうにケルン大聖堂と聖マルチ教会が見られます。



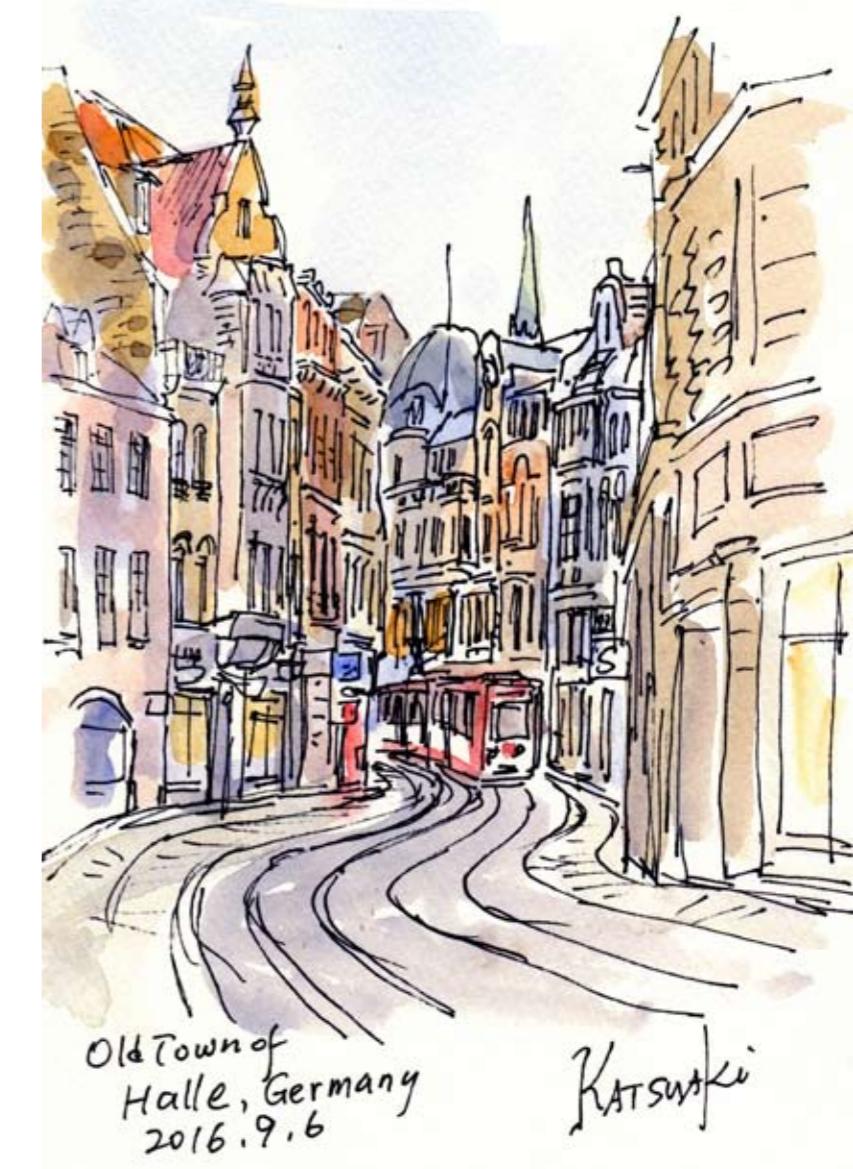
Marktplatez
Halle
2016.9.9

KATSUAKI

II-19 ハレ(ザーレ) Halle (Saale)

マルクト広場の朝
Morning in the Marktplatz

ハレはザーレ川沿いの町です。古くはプロイセンに、第2次世界大戦後は東ドイツに属していました。町の中心には2対の塔をもつマルクト教会があり、古い町並に囲まれたマルクト広場では、花市で賑わっていました。



Old Town of
Halle, Germany
2016.9.6

KATSUAKI

II-20 ハレ(ザーレ) Halle (Saale)

市電の走る夕景
Evening Scene of the Grote
Ulrich strasse with tram

ハレは、第2次世界大戦で奇跡的に爆撃を受けなかつたので、曲がりくねった古い町並が残っています。低床式の市電LRTが走っていて、市内各地に移動できます。



II-21 ハレ(ザーレ) Halle (Saale) 製塩博物館 Salinemuseum

ハレは古ドイツ語で塩を意味し、古くから岩塩の採掘で栄えてきました。ザーレ川のほとりには、塩職人(ハローレン)製塩技術博物館があり、伝統的な手法に従い、ハローレンたちが塩水を煮て塩を生産しています。



II-22 ハレ(ザーレ) Halle (Saale)

モーリツブルグ美術館 Moritzburg Museum of Art

モーリツブルク城 (Moritzburg) は15世紀に建てられた城塞です。ここは現在は美術館になっていて、現代美術を展示しています。

III スペイン Spain



王宮、広場、美術館のある首都マドリード

歴史に彩られた古都トレド

美しい宮殿と庭園のアランフェス

世界遺産の水道橋と街並のセゴビア



III-1 マドリード Madrid

王宮のある風景 Landscape with the Palace (Palacio Real de Madrid)

スペインの首都マドリードは、起伏の多い地形です。王宮の丘に向かい合うプリンシペピオ見晴らし台に行くと、王宮と、隣接するアルムデナ大聖堂がよく見えます。



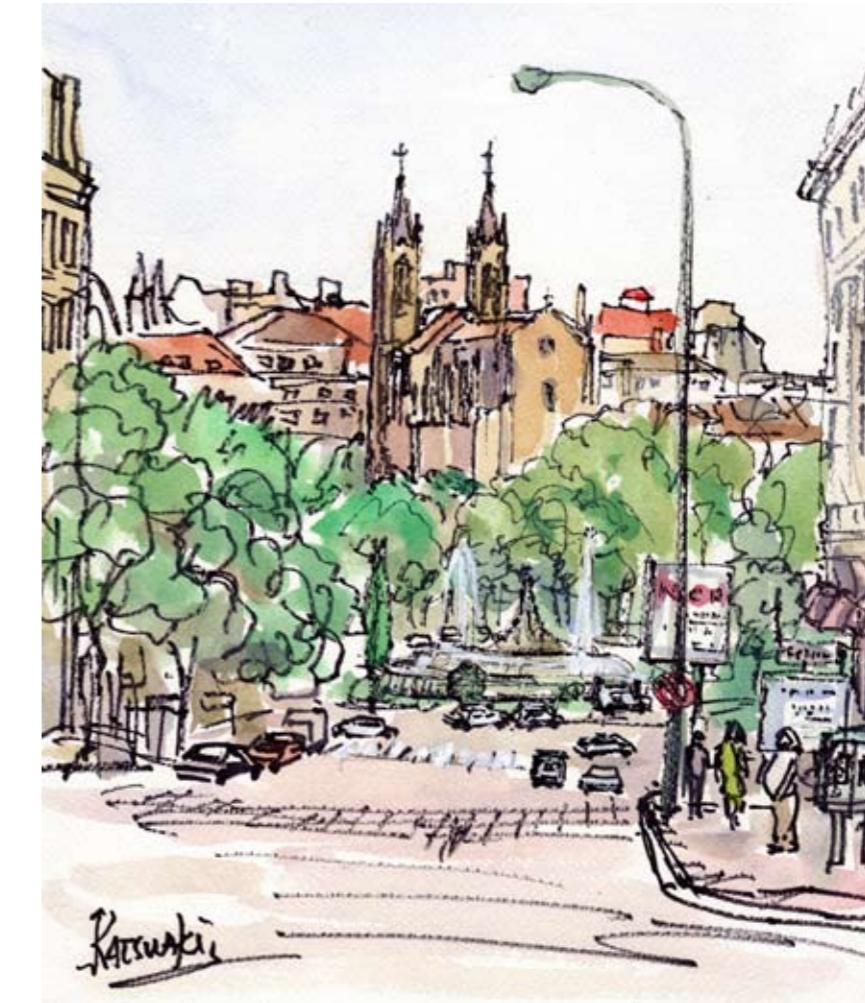
III-2 マドリード Madrid ソル広場 Puerta del Sol

プエルタ・デル・ソル(太陽の門)は、マドリード中心部にある大きな広場です。周辺の通りも含め、観光客や地元住民が利用するショッピング街となっています。騎馬像は、スペイン国王カルロス3世の像です。



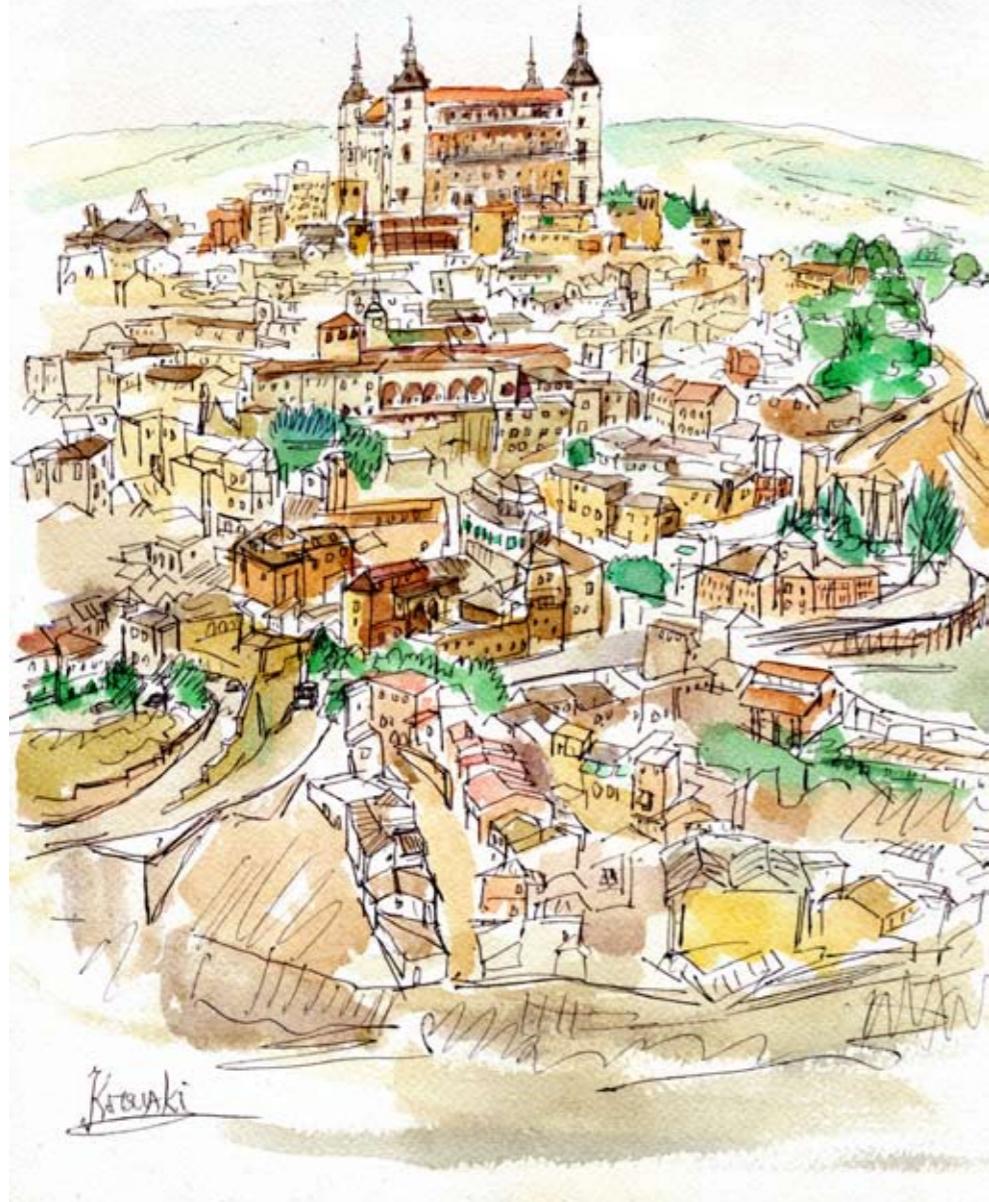
III-3 マドリード Madrid マヨール広場 Plaza Mayor

ソル広場から300mくらい歩くと、回廊のある3階建の建物に囲まれた長方形の広場であります。真ん中には、広場の建設を命じたフェリペ3世の騎馬像が建っています。



III-4 マドリード Madrid コルテス広場 Plaza de las Cortes

真ん中の建物はサン ヘロニモ エル レアル教会、コルテス広場の中心にはネプチューンの噴水があります。この広場の右にプラド美術館があります。



III-5



III-6

III-5 トレド Toledo 王宮 Alcazar

街全体が世界遺産に指定される古都トレドは、タホ川の峡谷に囲まれた丘陵地にあります。丘陵をぎっしりと埋めた建物群の頂上には、カスティーリャ王国時代のアルカサル（王宮）がそびえています。このスケッチは、タホ川対岸の丘に建つパラドールからの眺めです。

III-6 トレド Toledo

サンタマリア・トレド大聖堂 Catedral de Santa Mariá de Toledo

アルカサルの西隣にはトレド大聖堂が見られます。このスケッチは、トレド対岸のタホ川峡谷沿いの自動車道をパラドールから20分くらい歩いたところからの眺めです。



III-7 トレド Toledo ビサグラ門 Puerta de Bisagra

古都トレドの入口には石造りの堅牢なビサグラ門があります。この門をくぐると、旧市街のたたずまいが目に飛び込んできます。



III-8 トレド Toledo 市役所 Ayuntamiento

カテドラルのすぐ近くに、莊厳な市役所があります。観光案内所はその1階にあり、トレドの地図がもらえますし、ホテルも紹介してくれます。



III-9 アランフェス Aranjuez 王宮 Royal Palace of Aranjuez

ホアキン・ロドリゴの楽曲アランフェス協奏曲で知られるアランフェス。マドリードとトレドの中間地点にあり、もとの王宮と庭園があり、世界遺産に登録されています。宮殿の前の噴水が美しい。



III-10 アランフェス Aranjuez 王宮の庭園 Jardin del Palacio de Aranjuez

16世紀にフェリペ二世によって作られたフランス式の庭園です。タホ川と人工の川に囲まれた三角の中洲にあり、当時の宮廷の優美さを彷彿とさせる風景です。



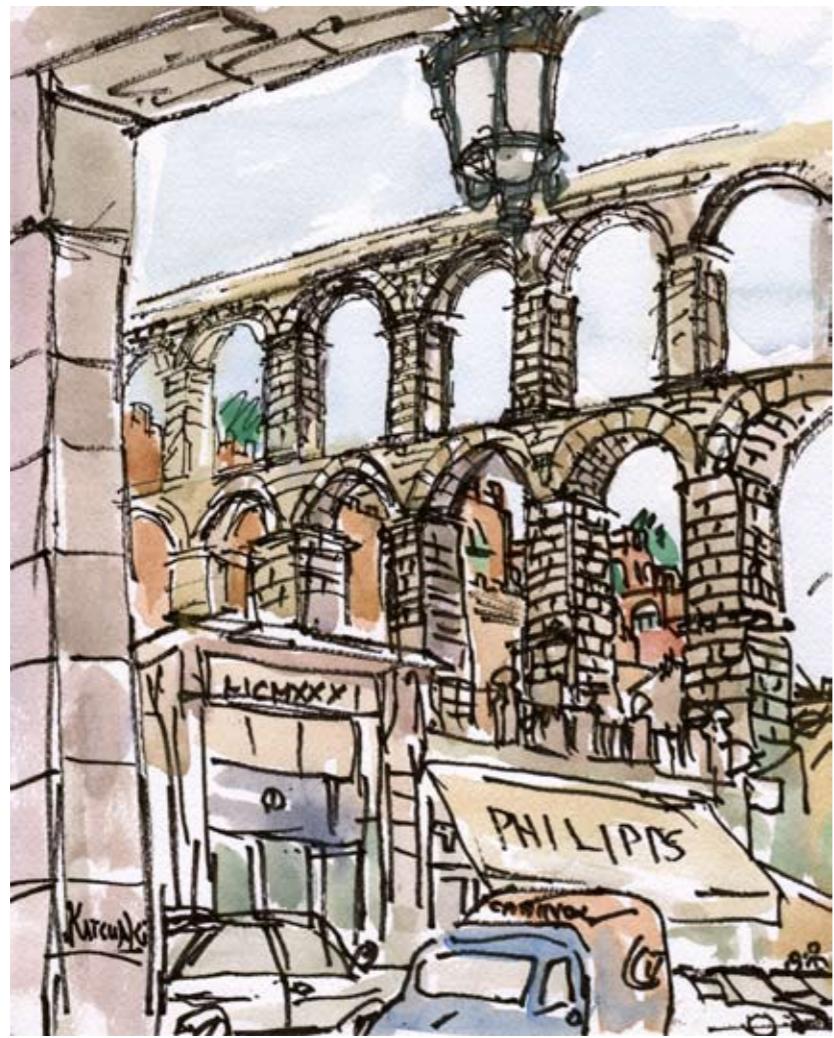
III-11 セゴビア Segovia セゴビア城 Alcázar de Segovia

セゴビアはマドリードから鉄道で2時間で行ける観光地です。100mほどの断崖上には、ディズニーの白雪姫の城のモデルになったお城があります。「セゴビア旧市街と水道橋」の一部としてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されています。



III-12 セゴビア Segovia セゴビア大聖堂 Catedral de Segovia

16世紀、スペイン国王カルロスI世に対するコムネロスの反乱で市民派の拠点となつたのがセゴビア大聖堂です。戦闘で破壊された建物を国王が後期ゴシック様式で再建したのが現在の大聖堂です。



III-13 セゴビア Segovia 水道橋 Aqueduct of Segovia

ローマ時代に作られた水道橋。長さは 813m、高さは 28.5m。この橋は、花崗岩で作られ、釘などの接合材は一切使わず、石自体の重みで固定されているということです。19 世紀末まで水道橋として作られています。



III-14 セゴビア Segovia セゴビア旧市街 Old town of Segovia

水道橋とともに世界遺産になっているセゴビアの旧市街。水道橋の下に日差しをさけるためのアーケードがあり、様々なお店が軒を連ねている。

作品リスト

No.	都市名(日)	(英)	題名(日)	(英)	掲載頁
I フランス					
	パリ	Paris	ラ・メゾン・ローズ	La Maison Rose	表紙
I-1	パリ	Paris	凱旋門	L'Arc de Triumphe	8
I-2	パリ	Paris	サンマルタン運河	Canal Saint Martin	9
I-3	パリ	Paris	エッフェル塔	Tour Eiffel	10
I-4	パリ	Paris	セーヌ川	La Seine	11
I-5	パリ	Paris	パリ市役所	Hotel de Ville	12
I-6	パリ	Paris	モンマルトルの小径	Montmartre Lane	13
I-7	パリ	Paris	サンミシェル橋	Pont Saint Michel	14-15
I-8	パリ	Paris	シャンゼリゼ	Champs Elysees	16
I-9	パリ	Paris	ソルボンヌ	Sorbonne	17
I-10	パリ郊外	Suburbs of Paris	ドゥルダン城の濠	Fosses du Chateau Dourdan	18
I-11	パリ郊外	Suburbs of Paris	ドゥルダン、サンピエール通り	Rue Saint Pierre, Dourdan	19
I-12	パリ郊外	Suburbs of Paris	ヴェルサイユ宮殿の庭	Versaissle	20
I-13	パリ郊外	Suburbs of Paris	フォンテーヌブローの城	Chateau de Fontainebleau	21
I-14	パリ郊外	Suburbs of Paris	ドゴール広場、ドゥルダン	Pl. General d-e Gaulle	22
I-15	パリ郊外	Suburbs of Paris	フォンテンブローの街並	Rue Grande, Fontainebleau	23
I-16	ストラスブール	Strasbourg	クヴェール橋から大聖堂を望む	Cathedral from Pont Couvert	24
I-17	ストラスブール	Strasbourg	ブティット、フランスムーラン広場	Squares du Moulin, Petite	25
I-18	グルノーブル	Grenoble	イゼール河畔の家	Houses on the Isere river	26
I-19	グルノーブル	Grenoble	ジャルダンドヴィル公園	Jardin de Ville	27
I-20	マルセイユ	Marseilles	旧港の朝	Morning at the Vieux Porte	28
I-21	マルセイユ	Marseilles	夕闇の旧港	Night scene of Vieux Porte	29
I-22	エクサンプロバンス	Aix-en-Provence	早春の花市	Flower market in early spring	30
I-23	エクサンプロバンス	Aix-en-Provence	ミラボー通り	Cours Mirabeau	31
I-24	ベノデ	Benodet	ヨットのある風景	Yachts on the Odet river	32
I-25	ベノデ	Benodet	アッベ橋からヨット係留地を望む	Yacht Harbor from Pont Abbe	33
I-26	カンペール	Quinper	サン・コランタン大聖堂	Cathedral Saint-Corentin de Quimper	34
I-27	カンペール	Quinper	オデ川	The Odet	35
II ドイツ					
II-1	ベルリン	Berlin	ブランデンブルグ門	Brandenburg Tor	38
II-2	ベルリン	Berlin	カイザーヴィルヘルム記念教会	Keiser Wilhelm Gedaechtnis Kirche	39
II-3	ベルリン	Berlin	シュプレー川	Spree river from Jannowitzbuecke	40

II-4	ベルリン	Berlin	ドイツ連邦議会	Bundestag	41
II-5	シュトゥットガルト	Stuttgart	シュロス広場の旧宮殿(州立博物館)	Alteschloss at Schlossplatz	42
II-6	シュトゥットガルト	Stuttgart	シュティフス教会の時計塔	Clock tower of Stiftskirche	43
II-7	シュトゥットガルト郊外	Stuttgart Suburb	マールバッハムネッカーの塔	Tower in Marbach am Neckar	44
II-8	シュトゥットガルト郊外	Stuttgart Suburb	マールバッハムネッカーの古い家	Old houses in Marbach am Neckar	45
II-9	ハイデルベルク	Heidelberg	ハイデルベルク鳥瞰	Bird's eye view of Heidelberg City	46
II-10	ハイデルベルク	Heidelberg	旧市街からアルテブリュック橋を臨む	Altebruecke from Old Town	47
II-11	フライブルク	Freiburg	シュワブ門	Schwabentor (Swabian Gate)	48
II-12	フライブルク	Freiburg	フライブルグ鳥瞰	Bird's eye view of Freiburg	49
II-13	デュッセルドルフ	Duesseldorf	ケーニヒ通り	Koenichsallee	50
II-14	デュッセルドルフ	Duesseldorf	アルトシュタット	Altschstadt	51
II-15	ツォンズ(デュッセルドルフ郊外)	Zons(Suburbs of Duesseldorf)	城門	Rheintor (City Gate) from North	52
II-16	ツォンズ(デュッセルドルフ郊外)	Zons(Suburbs of Duesseldorf)	ユッデ塔のある町並み	Street scene with the Juddeturm Tower	53
II-17	ケルン	Koeln	大聖堂	Cathedral	54
II-18	ケルン	Koeln	大聖堂と聖マルティン教会	Cologne Cathedral and St. Martin Church	55
II-19	ハレ(ザーレ)	Halle (Saale)	マルクト広場の朝	Morning in the Marktplatz	56
II-20	ハレ(ザーレ)	Halle (Saale)	市電の走る夕景	Evening Scene of the Grote Ulrich strasse with tram	57
II-21	ハレ(ザーレ)	Halle (Saale)	製塩博物館	Salienmuseum	58
II-22	ハレ(ザーレ)	Halle (Saale)	モーリツブルグ美術館	Moritzburg Museum of Art	59
III スペイン					
III-1	マドリード	Madrid	王宮のある風景	Landscape with the Palace (Palacio Real de Madrid)	62
III-2	マドリード	Madrid	ソル広場	Puerta del Sol	63
III-3	マドリード	Madrid	マヨール広場	Plaza Mayor	64
III-4	マドリード	Madrid	コルテス広場	Plaza de las Cortes	65
III-5	トレド	Toledo	王宮	Alcazar	66
III-6	トレド	Toledo	サンタマリア・トレド大聖堂	Catedral de Santa Mari a de Toledo	67
III-7	トレド	Toledo	ビサグラ門	Puerta de Bisagra	68
III-8	トレド	Toledo	市役所	Ayuntamiento	69
III-9	アランフェス	Aranjuez	王宮	Royal Palace of Aranjuez	70
III-10	アランフェス	Aranjuez	王宮の庭園	Jardin del Palacio de Aranjuez	71
III-11	セゴビア	Segovia	セゴビア城	Alca zar de Segovia	72
III-12	セゴビア	Segovia	セゴビア大聖堂	Catedral of Segovia	73
III-13	セゴビア	Segovia	水道橋	Aqueduct of Segovia	74
III-14	セゴビア	Segovia	セゴビア旧市街	Old town of Segovia	75

著者プロフィール

洋画家であると同時に応用物理学の研究者
一般社団法人「日本画府（日府展）」理事（洋画部審査員）を務める
ギャラリー渋谷、詩季画廊、ギャラリー華沙里、アートギャラリー 884
等で計 15 回個展開催
2009 年よりアルテリッカ新ゆり美術展を実行委員長として開催

職歴

1966 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
1966 NHK 入局
1968 – 1984 放送科学基礎研究所
1978 工学博士（京都大学）
1984 東京農工大学工学部助教授
1989 " 教授
2005 " 理事副学長
2007 – 2013 科学技術振興機構 さきがけ研究総括
2008 – " - 研究広報主監
2010 – " CRDS フェロー
2017 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム PD

著書

光と磁気、応用電子物性工学、応用物性、金色の石に魅せられて、
理科力をきたえる Q&A、半導体物性なんでも Q&A、太陽電池のキホン、
磁性超入門、雑草とよばないで 他多数

画歴

1952 小学校 5 年より伊藤継郎の児童画教室で油彩を学ぶ
1961 大阪府立北野高校で岡島吉郎に学ぶ
1968 NHK 技研美術部で中島哲郎、樋渡清二に師事
1970 日府展出品、以降毎年出品

ごあいさつ

おしゃれなフランスの街、どっしりしたドイツの街、明るいスペインの街、街角のちょっとしたたたずまいにも、その人々の営みを感じます。このスケッチ紀行は、わたしが研究成果の発表や、国際会議の運営のために訪れた海外の街で、会議の合間を利用してペンと水彩で描き溜めたスケッチにその地の簡単な案内を添えて、海外の街や人の営みを読者の皆様に感じていただくことを目指しています。

街を歩いていて、「いいな」と思ったら、ただちにスケッチブックに油性サインペンでデッサンして、固体水彩で着色します。20-30 分あれば 1 枚のスケッチができるります。こうしたスケッチにもとづいて自宅で油絵を制作しますが、写真にもとづくよりも自分が感じたその街の印象に近いと思っています。

フランス、ドイツ、スペインの街の雰囲気を楽しんでいただければ幸いです。

2018 年 3 月

佐藤勝昭



佐藤勝昭スケッチ紀行

vol.1 ヨーロッパ 1

2018年3月00日 初版第一刷発行

定価 本体 0,000 円 + 税

著者：佐藤勝昭

制作：株式会社 美術年鑑社

〒 101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-3

印刷：半七写真印刷工業株式会社

本書の無断複写（コピー）は、著作権法上での例外を除き、
禁じられています。落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

©Katusaki SATO, Printed in Japan, 2018

ISBN978-4-89210-000-0